

ガバナー月信



ロータリー：
変化をもたらす



| 国際ロータリー 第2570地区 (埼玉西北部) | vol.7

Rotary International District 2570

January 2018



2017-2018年度

1

月号

contents

- 細井ガバナーメッセージ p2
- 職業奉仕月間に寄せて p3
- ロータリー・リーダーシップ研究会報告 p4
- 茂木エレクトを訪ねて p5
- コーディネーターニュース p6
- 海外派遣奨学生 p7
- 募集交換学生 帰国報告 p8,9
- 米山奨学生カウンセラー会議 & クリスマス会報告 p10
- 交換学生 活動報告 p11,12
- ガバナー公式訪問 p12,13

Rotary





国際ロータリー第 2570 地区

2017-2018年度 ガバナー

細井 保雄

「新年のご挨拶」と 「会員増強・会員維持のお願い」

会長幹事の皆様、会員の皆様新年明けましておめでとうございます。私たちの年度もちょうど半年が経過しいよいよ後半戦となります。年度当初に掲げたクラブ目標や実行項目の進捗状況はいかがでしょうか。残された課題を各クラブ会員の皆様と共有し、有終の美を飾ることができるよう気を緩めず「元気なクラブづくり」に果敢に取り組んでいただきたいと存じます。

ロータリーの最優先項目はポリオ撲滅です。2017年12月15日時点では2017年の症例数は17件となっております。RIでは2018年にはゼロになる可能性は十分あると考えております。ただし、ゼロになったからといって私たちの仕事が終わったわけではありません。ロータリーは、世界が「ポリオフリー」と認定されるまで、ポリオ撲滅活動に全力を捧げます。2016年には4億5000万人の子供への予防接種を支援し、推定65万人の身体麻痺を未然に防ぎました。これは、しっかりした会員基盤、そして果敢に取り組む会員がいればこそ可能です。新年を迎えて、私たち全員が将来の課題に立ち向かうための強い会員基盤を築く必要があります。

私が、ガバナー公式訪問で感じたことは、多くのクラブが抱える最大の課題、「仲間を増やすこと」でありました。会員増強については、新会員の勧誘の活動を促

進するだけでなく年度末に近づくほど会員維持（退会防止）にも注意深く意識を傾ける必要があります。各クラブ様が年度初めに計画した会員増強を実行できるようお願いします。

今年度、地区各部門のセミナーや行事は地区役員そして会員の皆様のおかげさまで内容のある素晴らしいものとなっております。地区チームリーダーの皆様、会員の皆様に感謝いたします。

さて当地区の最大の懸案事項、ガバナーエレクト選出ですが、本庄RC茂木正様に決定しました。スマートでジェントルマンなガバナーを選出することができました。また茂木様は、地区役員を長く努められご経験豊かです。先月GETSを無事終了され、今月はサンディエゴの国際協議会へ出発されます。1週間のタイトな研修ですが、RI会長エレクト、RI理事、研修リーダーの皆様から習得した事柄や、日本の各地区、海外のエレクトたちと交流して学んだことが次年度大いに役立つと思います。第2570地区一丸となって協力支援しましょう。また今年度は未決定のガバナーノミニ、ガバナーノミニ・デジグネートの選出を考えております。全会員のご協力をよろしくお願いします。各クラブの皆様の御活躍ご健勝を祈念いたします。

Vocational Service 「職業奉仕月間」に因んで

曲がり角に立つ、日本の「職業奉仕論」

1月は「職業奉仕月間」です。2014-15年度までは10月でした。「職業奉仕」はロータリーの根幹か？とロータリーの友2017年1月号に本田博己PDGが寄稿されました。日本の「職業奉仕」論は、曲がり角に立っています。

ロータリーの例会は、1910年頃からの一時期シェルドンのサービス理論の学びの場であったように思います。事業の永続的な繁栄を図る「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」のサービス(奉仕)理論を、例会に「入りて学び、出でて奉仕せよ」と。その時代には「職業奉仕」の言葉はありませんでした。

職業奉仕は「あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していく」(クラブ定款第6条)ことです。「奉仕の理念」の始まりは、シェルドンの「サービス(奉仕)学」であったように思います。

1927年に四大奉仕が実施され、シェルドンの教えはそのうちの一つの「職業奉仕」、それもシェルドンの OccupationではなくVocational Serviceとなり、彼の時代が終わり、現在の「人道的奉仕」に移りました。シェルドンは1930年にシカゴ・クラブを退会しました。

シェルドンの経営学としての「奉仕・サービス」の根幹は、「自分が他人からしてもらいたいと考えることを、まず他人にすること」との「黄金律」のようで、職業奉仕のみならず現在の五大奉仕の基本理念の「奉仕の理念」の理解に最も合うように思われます。

日本の「職業奉仕」論はそんな議論をしますが、RIの「職業奉仕」は自己の職業上のスキルを生かした奉仕活動・プロジェクトの実践の推奨です。RIは①親睦、②高潔性、③多様性、④奉仕、⑤リーダーシップの「中核的価値観」を、「奉仕の理念」として教えているのかは定かではありませんが、ロータリーの独自性に少し寂しさを感じます。

なお、RIは職業奉仕を会員個人とクラブ双方の責任であるとし、「職業奉仕月間」を次のように定めています(2004年11月理事会会合、決定59号)。

クラブおよび地区は職業奉仕月間を以下のために活用するよう奨励されている。



職業奉仕部門委員長
武田 哲 (深谷東)



1. 可能であれば、地区レベルの行事でロータリー・ボランティアを表彰する。
2. ロータリー親睦活動への関与を推進する。
3. 職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱する。
4. 空席の職業分類に会員を入会させるために会員増強活動を推進する。

ロータリー・リーダーシップ研究会 報告



RLI委員会 委員長 田代 充雄 (熊谷西)

標記RLIのパートIを去る9月9日(土)に、続くパートIIを11月25日(土)に、国立女性教育会館にて実施しました。それぞれの参加者は下記の通りであります。

	パートI	パートII
受講者	37名	28名
委員会メンバー	11名	10名
DL(ディスカッション・リーダー)	11名	11名
合計	59名	49名



私たち2570地区では2011年に「RLI研修委員会」を立ち上げ現在に至っておりますが、今年度細井保雄ガバナーは、今後のロータリー研修をより充実したものにする為の必要不可欠な方法として「RLI方式による研修」を機軸にしております。

パートIのテーマは「ロータリアンとしての私」・「私たちロータリアン一人ひとりが学ぶべきテーマ」

を一日6時間の多彩なセッションを通じて語り合いました。続くパートIIのテーマは「私たちのクラブ」・ロータリークラブを介してこそ実現できる可能性についてセッションを進めました。そして次回パートIIIではテーマを「私のロータリーの旅」として、ロータリーにある多くの奉仕の機会を利用する方法についてセッションを進めて参ります。幅広く、そして奥深いロータリーの世界の探訪の旅と一緒に出かけましょう。

結びに、パートI、パートII開催に際しご尽力くださった関係各位に対し心よりの御礼を申し上げ、以上報告いたします。

国際ロータリー細則第14条による公表

2018-2019年度 ガバナー候補者について下記の通り報告いたします

記

2017年12月8日に指名委員会から2018-19年度ガバナー候補者の指名、及び受諾と所属クラブ推薦の承認を得たことの報告を受けました。

つきましては国際ロータリー細則14.020.6により

下記の通りガバナー候補者と所属クラブを地区内全てのクラブに公表いたします。

氏名 茂木 正 (もてぎ まさし)
所属クラブ 本庄ロータリークラブ



茂木 正ガバナー エレクトを訪ねて

ガバナーエレクトとなられた本庄ロータリークラブ会員 茂木 正(もてぎ まさし)さんの、人となりなどを紹介するため、矢澤大和副幹事共々12月18日株式会社ユニオンインターナショナルを訪ね、インタビューをさせて頂きました。

副幹事 橋本 恭一

茂木さんは昭和26年本庄市に農家の長男として生まれた言わば生粋の本庄っ子です。目標を達成する熱き心と日本で選出が最も遅れたガバナーエレクトを引き受けてくれた義侠心、自ら短気と語る気質は強いからっ風が育ん(はぐくん)だものでしょうか？

県立熊谷農業高校卒業後、拓殖大学に進み、ゼミの先生の推薦もあり卒業後スペインのマドリード国立大学に入学。アルバイトではじめた現地ツアーコンダクターで生活が安定し「マドリードで一生涯を過ごすのもいいな」と思い始めた頃、お母様が逝去されたのをきっかけに同大学を中退・帰国。ペンテル(株)貿易部にて中南米貿易を担当活躍されましたが、3年半で退社。(確かに気が短い…)知人のレストランの仕事をしながら、平成三年(有)ベルダ設立(生花鉢花など)・平成10年人材派遣の(株)ユニオンインターナショナル設立・後に(有)ユニタカ設立と事業拡大しています。

ロータリー歴—本庄ロータリークラブには2000年入会。スリーピングの後、日豪青少年交換のホームステイを受け入れてから、クラブと地区の国際奉仕部門委員長として活動。2015～2016年度本庄ロータリークラブ会長、現在はRLIでも活躍しています。

趣味—拓殖大学時代は山岳部、スキー部に所属。スキーは指導員の資格を取り、石打TBSスキー場で教えるアルバイトをしていたそうです。山登りは体力的にきつくなってきましたが、今は溪流釣りにはまり青森・岩手などに年に10回ほど出かけているそうです。今後しばらくは釣りに行けなくなるのが残念!とのこと。ダイビングが大好きで世界中のサンゴ礁の海を潜っているそうです。

慰霊とお遺骨収容—サイパン島テニアン島でお遺骨収容団と出逢ったのをキッカケに慰霊とお遺骨収容に関わり、平成14年からパラオ共和国ペリリュー島(地元高崎聯隊が配置されていた)、チョーク諸島、トラック諸島(州政府の歴史遺産指定により収容は不可)ガダルカナル島、ビルマ、硫黄島などへ現在まで十三回渡航。いまだ外地に残された130万柱の帰国と慰霊に努めたいそうです。収容した遺骨は焼骨の後、以前は貨物機で運搬していましたが海上自衛隊の協力を得て、4年前からは海上自衛隊の船に安置されて祖国に帰国して頂く事が実現しました。(ソロモン諸島のみ)

国際ロータリー第2570地区次年度への抱負—ロータリークラブに参加して面白い!と思ってもらえるよう、わいわいがやがやと楽しくやりたいと思います。体験する事で考えて頂けます。見た目も大事です。ロータリーブランドを高めることが増強につながります。営業活動においてもまずは視覚から好印象を持っていただく事や自分自身を売り込むことが成果を上げる第一歩の様です。周囲から見ても私たちがロータリー活動を楽しみ地域に奉仕することが、ロータリーのイメージアップにつながります。

茂木エレクトと自衛隊などとのパイプが活かされた楽しい活動が期待できそうです。17日はエレクト研修の補講、20日までには地区大会の日程を決めなければならないハードスケジュールの中、私達の訪問を受け入れて下さりありがとうございました。

(写真：副幹事 矢澤大和)



今年度のライズリー会長のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」であります。ロータリーが岐路に差し掛かっているとされる現在、我々は変革 (Transform) を目指さなければなりません。

去る 11/20-11/23 に開催した第 46 回ロータリー研究会には全国から多くのシニアリーダーの皆様にご参加を頂き盛会裏に終了できました。研究会では「日本の心をどう世界に発信するか」を基本理念にプログラムを構成して実施しました。幸い参加された皆様から好評を得たことは望外の喜びです。

具体的には、セッション1では「日本のロータリー 100 周年を迎えてのもう少しの努力」(日本のロータリーのこれまでの歴史と将来展望)、セッション2では「日本の元気なクラブ」(それぞれの規模のクラブの努力成果)、セッション3では「変化をもたらす日本のロータリーの将来ビジョン」(世界と乖離しない日本のロータリーの存在意義)の研修を行いました。

国際ロータリー理事 石黒 慶一

■ 世界を変える行動人 (People of Action)

○公共イメージに関連するさまざまな課題に取り組むため、ロータリーは今年度、「世界を変える行動人」と題された新たな公共イメージキャンペーンを開始しました。

○ロータリーでは、地域に根付いて活動する会員達が、地元や世界に持続可能な変化をもたらす為に、行動しています。

○公共イメージキャンペーンの目的

1. 認識と理解の間の格差を埋める
2. 「ロータリーとは何か」を定義し、ロータリーによる影響を明確に示す
3. 会員の参加、目的意識、寄付、活動を促すための土台を築く
4. それぞれの地域にふさわしい広告をクラブが作れるようにする

○目的を果たすための戦略

1. People of Action(世界・地域を変える行動人)としてのロータリアンを紹介する。
2. 地域社会に課題・問題があれば、解決策と可能性を見出すロータリアンの姿を表現する。
3. 長期的な解決策をもたらすために、ロータリアン、地域社会のパートナー、専門家がビジョンを共有し、アイデアを交換する姿を示す。

○具体的な戦術…RPIC としての提案(ロータリアン自身が広告塔です。)

1. 身近に「世界や地域を変えたロータリアン」が居て、地域へ紹介されてなければ、商工会議所ニュースや法人会広報誌等を通じて、地域へ紹介して下さい。
2. 地域社会の問題解決の為、ロータリアンは地域社会(ロータリー以外の団体)のパートナーやリーダーと共に積極的に意見交換し、問題解決にご尽力下さい。

○キャンペーンの一環として、ロータリーのブランドリソースセンターから新しい「メッセージ作成ガイド」をダウンロード出来ます。

○このガイドには、すべてのロータリアンが一貫した方法で心に訴えるロータリーのストーリーを伝え、ロータリーへの参加を促す為のメッセージが紹介されています。

○ブランドリソースセンターでは、公共イメージに関するその他のリソースを利用できます。



© Rotary International/Alyce Henson

第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 鈴木 秀憲

■ 増強についての思い

現在の日本ロータリーの会員数は多少の増加傾向にあるものの、40%は30人以下であると言われております。また平均年齢は60歳以上が多く70歳以上のクラブも少なくありません。RIは地区の構成として1地区2700人75クラブ(1クラブ36人となります)が望ましいといっています。会員増強の課題の1つは斎藤 RI 理事も仰っていましたが、30人以下のクラブの会員数をいかにして増やしていくかだと思います。小人数クラブは元々活動できる会員数が少なく、またその地域での子クラブ、孫クラブ、ひ孫クラブである事が多く、これは親クラブに対してある意味不利になる事でしょう。

1つの参考事例を述べてみたいと思います。昨年2570地区の坂戸さつきクラブは年初会員数18名でスタートして8名増やして増加率44.4%としています。

1) 年度会長は就任前から増強に対する強い思い、やる気があり、7月当初に会長推薦で2名入会させています。

(常にパンフレットと入会申込書を持ち歩き、これはと思う人にはロータリーを説明して入会を勧めていた)

2) 会長のリーダーシップを意気を感じてクラブ会員一丸となって積極的に勧誘を行った結果7月から11月まで5ヶ月間毎月のように入会者を得ています。

3) 退会者(バスト会長)の再入会や7月に入会した新会員による紹介で新たな入会者もありました。

この例から分かることは、会長を始めとしてクラブ会員全員のやる気と普段からの積極的な継続的勧誘奉仕活動があれば増強は確実に出来るという事ではないでしょうか。またクラブ戦略委員会等で目標が決まったならば、会長や増強委員長等が挫けることなく常に増強活動を引っ張り続けていく姿勢の大切さが重要であることを示しています。増強して仲間を増やす事はロータリーの素晴らしさを広める事になるのです。これは正に公共イメージアップにも通じる事でしょう。

「為せば成る 為さねばならぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」 上杉鷹山

第1ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 坂本 元彦

「海外派遣」奨学生募集

ロータリー財団

Rotary International Scholarships

The Rotary Foundation Scholarships 2019 - 2020

世界200以上の国と地域への留学のチャンス

国際理解と親善による世界平和に共鳴し、研究と共に友好と交流を積極的に推進される方

地区補助金奨学金

地区補助金奨学金は国際親善と友好を主な目的としています。奨学生は留学国で国際交流を深めるための活動を積極的に行う責務があります。

専攻分野は問いません。(例: 語学、音楽)

*交換留学制度を活用した留学希望者を歓迎します。

支給期間 1 学年度 [9ヶ月]

支給金額 24,000 US ドル 返済不要
(但し、交換留学制度を活用した場合は 10,000 ドル)

派遣年度 2019年7月1日 - 2020年6月30日

募集人数 若干名

応募資格

いずれの奨学金においても以下の応募資格が適用されます。

- 埼玉県第2570地区内に在勤 在学・在住のいずれかであること
- 奨学金支給年度までに2カ年の大学課程を修了しているかあるいは高校を卒業した方で、2カ年以上職業に従事していること

グローバル補助金奨学金

グローバル補助金奨学金は以下の分野について海外の大学院で学ぶための奨学金です。

- 1 平和と紛争予防/紛争解決
- 2 疾病予防と治療
- 3 母子の健康
- 4 水と衛生設備
- 5 基礎教育と識字率向上
- 6 経済と地域社会の発展

※グローバル補助金奨学金は地区選考以外にロータリー国際本部による選考がおこなわれます。詳細はお問合せください。

支給期間 1 年から最長4 年まで

支給金額 30,000 US ドル 返済不要

留学開始 2019年7月1日 - 2020年6月30日

募集人数 若干名



応募〆切
2018年4月27日 (金) [必着]

応募方法は国際ロータリー2570地区のウェブサイトをご覧ください

お問合せ

国際ロータリー第2570地区 地区事務所 Rotary International District 2570

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2-5-14 紫雲閣3階 TEL 0493-21-2570 FAX 0493-21-2571

Email: d-office@mail.rid.2570.gr.jp / www.rid2570.gr.jp



第45・46期生 帰国報告会

青少年交換 委員長 吉田 真人 (深谷)

12月10日 東松山市紫雲閣において第6回のオリエンテーションを兼ねて第45・46期生の帰国報告会を開催しました。当日は、細井ガバナー・加藤パストガバナーをはじめ、派遣高校の先生方・ご父兄・派遣クラブの方など多数参加頂き、盛大な報告会になりました。

一人15分の持ち時間を与えましたが、パワーポイントを使ったためか、ホストファミリー、旅行先の話が多く、現地での活動が少なかったような気が致しました。しかし派遣候補生にとっては大いに刺激になったのではないかと思います。その後は、ROTEX 主催のクリスマス会があり、帰国した学生が中心になるなど、大きく成長した彼らの姿を見て、委員一同本当に派遣して良かったと感動の一日でした。しかしながら、青少年交換委員会は、当地区にとっては、運営方法などいろいろな課題を、投げかけられました。この委員会は、各クラブのご理解ご協力がなければ成り立ちません。これからもご協力のほどお願いいたします。

今回発表した学生6名に、帰国報告の、まとめという題目で、まとめていただいた文章を、原文のまま、掲載させていただきます。

私はバリ島で様々な文化を目にし、実際に経験してきました。例えば、宗教もその文化の1つです。インドネシアでは、法律上、宗教を持つことが義務付けられているため、国民のほとんどが宗教を持っています。そして、バリ島の主な宗教はヒンドゥー教です。私は、積極的に毎日友達と一緒に、朝のヒンドゥー教のお祈りに参加したり、満月の日に行う行事などの宗教行事に参加しました。実際にお祈りに使う「チャナン」と呼ばれる道具を作ったこともあります。

また、ヒンドゥー教のガランガン&クニンガンという、お盆のような祭りや、ニェッピーという、1日中家中の電気を点けず、外出も禁止されているお祭りなどに参加しました。どの祭りも伝統的な習慣が受け継がれていました。また、バリ島の伝統舞踊に挑戦したりもしました。

私にとってこの1年はとてもかけがえのない貴重な経験となりました。この経験を今後の人生に活かしていきたいと考えています。

46期生 アバリ島クタ派遣 野口 真花

今回の帰国報告では、一日目空港で迎えてくれたケイトリンの両親とロータリアンの方のお話や、各ホストファミリーとの思い出、動物園やクリスマス、学校での生活、友達との様子、サファリ旅行でオーストラリアの12以上の街を20日間でまわったこと。特にサファリ旅行で得た経験と友人はかけがえのないものになりました。3週間弱いろいろな人たちと暮らし、時にはテントもなく外で寝たりシャワーが水しか出なかったり、水が臭かったり今までの自分では思いもつかなかった、考えたこともないような経験をしました。高校生活の一年間は大きかったけれど、派遣生としてオーストラリアで一年間を過ごすことができたことは自分の中で嬉しく思いますし、このような貴重な機会を私に与えてくださったロータリーの関係者と両親に深く感謝をしています。本当にありがとうございました。

45期生 オーストラリア派遣 山口 愛乃

2016年8月24日に私はアメリカ、オハイオ州に向けて出発しました。13時間かけて人生で初めてアメリカの地に降り立った時はこれからだというのに何か大きなことを達成した気分になってとても嬉しくなりました。飛び立つ1ヶ月前から連絡を取っていたホストファミリーや、ロータリアンと合流できた時には本当にアメリカで生活を送れるんだという喜びの気持ちでいっぱいになり、不安は吹き飛びました。一年間を通して私はカウンセラーを含め、4家庭にお世話になりましたが、それぞれ家族構成も全然違ったので、生活の中で様々な違いも見ることができました。アメリカの各地を巡るトリップにも参加させていただき、雄大な自然や、歴史的な建物を見ることもできました。私の英語が正確に伝わり、現地の方々に何度も褒められた時は嬉しさとともに、ここまで来るのにサポートしてくれた家族や友達への感謝の気持ちも湧きました。また、このような機会を与えてくださった日本のロータリーの方々、留学の間支えてくださったアメリカのロータリーの方々、一年間ありがとうございました。

46期生 アメリカ派遣 藤原 望仁歌

Rotary Youth Exchange Orientation

国際ロータリー 2570 地区所沢東ロータリークラブ様スポンサーの元、フランス 1650 地区ブルターニュ・マイエンヌ地方ラバルに派遣していただいた、46 期交換派遣生の麻生えりです。フランスについて間もない頃はフランス語で会話はできず、英語を使いなんとか生活をしていましたが、ホストファミリーや友達、学校の先生に恵まれており、帰国する頃にはフランス語での日常会話は出来るようになりました。この10ヶ月間で私の思い出に残っていることは、ロータリー主催のバストリップに参加したこと。世界各国からフランスに集まった交換生たちと一緒にヨーロッパ中を見て回ることで、いろいろな国の文化や伝統を知るとともに、交換生たちとの絆を深めることもできました。またこの交換派遣では、周りの人の支えの大きさや自国に対する誇りなどを改めて感じる事ができました。これからはこの経験を糧に、さらに様々な事にチャレンジしていきたいです。

46 期生 フランス派遣 麻生 えり

私はブラジルで、たくさんの人と出会い、日本ではできない様々な体験をし、時に言語や文化の壁にぶつかって悩み苦しむ、それを乗り越えて喜びを感じ、とても充実した生活を送ることができました。

そして、挑戦することや諦めないこと、自分を支えて下さる人達の大切さに改めて気づくことができました。

私のブラジル生活はただ楽しかっただけではありませんでしたが、「普通の高校生」ではできない貴重な経験をさせて頂いたことで、2 年前派遣候補生だった頃の自分と比べると一回りも二回りも大きく成長できたと思います。

いつかまた、第二の故郷となったブラジルに里帰りをしたいです。

このような素晴らしい経験をさせて頂き、本当にありがとうございます。この経験を通して得たものを今後活かしていきたいと思っています。

第 46 期生 ブラジル派遣 森 智美

Buongiorno a tutti, mi chiamo Remi Arai. Facevo un anno di estero in Italia.

Oggi, vi presento l' esperienza in Italia e le mie famiglie che mi hanno ospitato a Trento. 一年間、イタリアの北部の街、トレントに留学していました、新井玲美です。この留学は私にとって自分を見直すきっかけとなった貴重な体験でした。私のホームステイ先はオーストリアに近い、イタリアの北部、トレントという街でした。イタリアの中で最も治安がよいとされる地域で、安心して暮らすことができました。留学中は3家族のもとでお世話になりました。どの家族とも上手く関係を築くことができ、たくさんの思い出を作ることができました。イタリア人の性格や生活の楽しみ方など、実際に経験することができたのでとても良い機会に恵まれたと思っています。

留学中の学校生活は、授業内容や仕方にとても刺激を受けました。まず驚いたのが学校の時間割です。イタリアにはほとんど午後までかかる授業日はありません。午前までほぼ休み時間なしの状態の授業を六時間終えた後、すぐに帰宅します。学校に残ってお昼ご飯を食べて午後の授業に備えるという習慣はなく、基本的に昼は自分の家へ帰って家族

と一緒に過ごすという流れになっています。家族と過ごす時間をたいせつにするというイタリア人の習慣の一つです。

また、毎週日曜日になるとホームパーティをして共通の趣味を持った仲間と交流をはかるといった習慣があるようでした。普段、私たちがしないようなことがイタリアでは日常的に行われていたことにはとても驚きました。日本ではなかなかできないような体験や経験をすることができた一年間だったと思います。

この留学を通して私が感じたことは、日本の技術の高さや治安の良さです。私が派遣して頂いたまちは比較的安全だったとはいえ、他の地域ではいつも周りを注意していないとならない街がたくさんあります。一方で日本はあまりそういったことはなく、暮らしやすい環境であることを実感しました。

また日本の技術力の高さに誇りを感じました。イタリアをはじめ、ヨーロッパでは日本の製品が重宝されていることを知り、自分がほめられているかのように嬉しかったです。

これからは留学で得た経験、知識を活用し、今後の自分の人生をより豊かなものにしていけるよう努力し続けたいと思います。

第 46 期生 イタリア派遣 新井 玲美



第2回カウンセラー会議 & クリスマス会 報告



ロータリー米山記念奨学部門委員会 委員長 島崎 義春 (行田さくら)

12月3日(日)川越東武ホテルにて、カウンセラー会議とクリスマス会が行われました。15時からカウンセラー会議、皆様に現況報告、問題点をお聞きいたしました。「非常によくやっている。」「米山奨学生になって良かったと言っている。」等、好意的なご意見が多くホッといたしました。中には、「女性だから接し方がよく分からない。」「文化の違いで食事に困ることがある。」と言うご意見もありました。また地区への要望もあり、まだまだ課題が沢山あると再認識させられました。



17時から、クリスマス会、私達地区役員が毎年楽しみにしている行事の1つがこのクリスマス会です。学友達の指導のもと、継続の奨学生が中心となり企画から実行まですべて奨学生が行い、私達ロータリアンをもてなしてくれます。今年も早くから準備をはじめ、当日も、13時に集合して、準備、リハーサルを行っておりました。結果、今年も例年の通り、心温まるクリスマス会になり参加されたロータリアンと学友は十分に楽しんでいただけたと思います。



当日、細井ガバナーは他の行事が重なった為欠席されました。ご挨拶、表彰等は、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事の加藤玄静パストガバナーにお願い致しました。皆様のご協力に感謝申しあげ、第2回カウンセラー会議とクリスマス会の報告とさせていただきます。



第1回・第2回 オリエンテーション報告



国際交流委員会 委員長 林 康雄 (志木)

11月19日(日)に東松山市の紫雲閣に於いて日豪青年相互訪問団員に対する第1回オリエンテーションを開催いたしました。当日は、第42期日豪青年相互訪問団員へ参加申込をした3名の青年とそのご家族が参加されました。

第1回目のオリエンテーションでは、ロータリークラブの活動・日豪青年相互訪問の目的・プログラムの概要と日程・自己紹介・参加費用や連絡網の説明などを行いました。

団員は、英語に自信がありカナダへ留学を予定している青年・異文化交流を学ぶ大学生・キャビンアテンダントを目指す高校生など様々ですが、高い志と澄んだ瞳が印象的な若人達でした。

第2回オリエンテーションは、川越市のウエスタ川越で12月17日(日)開催いたしました。直前の連絡でオーストラリアチームは、ロータリアン3名(夫婦1組)・青年9名となることが判明致しました。日本チームは追加団員を含めロータリアン3名(夫婦1組)・青年6名となり例年並みの参加者となりました。新メンバー及び保護者の皆様も参加したオリエンテーションはプロジェクターを使った第41期団長によるオーストラリア訪問の記録紹介、第39期(現JTB)の中野瑞希さんによる体験談と渡航に際しての注意、日本での受入れスケジュール説明、ホストファミリーとなった場合の注意事項等を実施致しました。



青少年交換プログラム

交換学生紹介



ITALY



森田 陽湖

イタリア

(飯能 RC)

日本でイタリア語を4カ月ほど勉強していましたが、イタリアに着いた直後はすべてがわかりませんでした。ホストマザーに何回も同じことを言っても理解できませんでした。ですが、10日ほど経ったぐらいで、一つ一つの単語が耳に入ってくるようになりました。3週間ほど経つと、相手が伝えたいことや聞きたいことがほぼ理解できるようになり、自分の希望やその日あったことの説明等がスムーズに言えるようになりました。私のホストマザーは私のイタリア語の勉強を積極的に見てくださいます。先日は、イタリア語の厚い参考書2冊を私にくださいました。また毎日、私がイタリア語で書いた日記を添削してもらっています。これは私にとって、とても勉強になるので派遣期間が終わるまで、続けていきたいです。ホストマザーの勧めで、10月から2月にかけて地元の大学で開講される、「外国人向けのイタリア語講座」を受講することを決めました。沢山のことを学んでいきたいです。この一カ月でイタリア語が格段に伸びたと思います。ホストマザーや学校の友達や先生ともっともっとイタリア語で会話をしたいです。残り9カ月、努力します。(中略)

改めて、このような素晴らしい機会を与えてくださった、ロータリークラブの皆様、本当にありがとうございます。これからもこの留学がより実りあるものになるよう、努力を惜しまず、過ごしていきます。



INDONESIA



塚田 耕太郎
インドネシア
(富士見 RC)

今回はインドネシアと日本の違いについて自分が感じたことを紹介していきたいと思います。違う点は大きく分けて4つあります。

1つ目は日本より暑いということです。もちろん気温も高いのですが、日差しがすごく強いので気温の数字の差以上に暑く感じます。

2つ目は生活習慣です。インドネシアの人々は朝起きるのが非常に早いです。私のホストマザーは3時に起きています。もう一つ日本と大きく異なる生活習慣はシャワーです。インドネシアでは一日に2回シャワーを浴びます。はじめは面倒だと感じましたが、今では暑いインドネシアでは大切なことだと思ようになりました。

3つ目は食べ物と飲み物です。私はインドネシアの食べ物が好きですが、日本とは大きく味が違います。特にインドネシアのソースは甘いか辛いかわげ端だと感じました。飲み物に関しては家にミネラルウォーターがたくさんあるのに驚きました。

最後は学校についてです。まず私が驚いたのがバイクで通学している人が多いということです。また、授業やテストをスマホやパソコンを使って行うことにも驚きました。インドネシアは進んでいるなと思いましたが、オンラインのテストでカンニングをする生徒がないのかどうか気になりました。そして、クラスメートがものすごく優しく、フレンドリーだということです。私は特別なスケジュールのため、様々なクラスで授業を受けていますが、どのクラスでもクラスメートはインドネシア語ができない私に英語や時には日本語を使って話しかけてきてくれて、私は本当に楽しい学校生活を送っています。一か月たち、私はようやくインドネシアの生活に慣れてきました。インドネシア語の勉強を頑張って充実した一年を過ごせるよう最善を尽くします。



ガバナー公式訪問

狭山中央 RC

会長・益子 伸明 幹事・浜野 貴子

10月10日(火)、狭山東武サロンに細井保雄ガバナー、木川一男第3グループガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。

例会に先立ち会長・幹事との懇談会が行われました。ガバナーから、公式訪問の意図及び現在の地区の状況など伺い、クラブ運営の有意義な情報をいただきました。また会員増強に関しても貴重なアドバイスをいただきました。

例会場に移り、全員での食事の後、例会が開会しました。卓話ではガバナーのテーマである「RI 戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!」の内容をより具体的に説明していただき、年度テーマと「service」に関してより深く指導いただきました。

クラブ協議会では RLI 方式による社会奉仕(こども食堂)、クラブ奉仕(クラブ予算)の討論を行いました。総評では卓話とは違った見地でのロータリーの魅力や増強の忌憚無い話、また規定審議会の意義についてのお話もいただき、無事に公式訪問を終了いたしました。



川本 RC

会長・田中 勝吾 幹事・野邊 利正

10月17日(火)細井ガバナー、向井ガバナー補佐、地区幹事の半田・五十幡両地区副幹事をお迎えしガバナー公式訪問例会を開催いたしました。午前中は、入会5年未満の会員1名とガバナー、ガバナー補佐、地区幹事、地区副幹事、会長の5名での懇談会を行い細井ガバナーから若い会員のあり方について助言を頂きました。

午後の例会は、点鐘後、ガバナー自らのソングリーダーによる「ロータリーを他人に告げる歌」の斉唱で始まり朗らかな雰囲気の中、ガバナーの卓話では基本的な奉仕理念について実例をふまえながらご指導頂きました。クラブ協議会では会員増強につながる他団体との関わりについて活発な意見がだされ最後にガバナーからのご講評を頂きました。細井ガバナーのロータリーへの熱い思いが伝わってきた公式訪問でした。



【お詫びと訂正】

月信 11月号 P10 にて、川越小江戸 RC 会長・金子貞男様のお名前が誤って表記されておりました。
誤「会長・金子貞夫」→正「会長・金子貞男」 お詫びとともに、ここに訂正させていただきます。

表彰 財団表彰



マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
堀江 大
(所沢西)



ポール・ハリス・フェロー
内野 忍
(所沢西)



メジャー・ドナー (2回目)
真下 和男
(東松山)



マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
中川 正明
(東松山)



メジャー・ドナー
武田 哲
(深谷東)

表彰 財団表彰



マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
堀田 博明
(朝霞)



マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
遠藤 松太郎
(朝霞)



ポール・ハリス・フェロー
根岸 照子
(川越小江戸)



米山功勞者 (6 回目)
後藤 賢治
(入間)



米山功勞者 (3 回目)
西山 祐三
(入間)

米山表彰

米山表彰



米山功労者 (3 回目)
関谷 永久
(入間)



米山功労者 (3 回目)
大野 賢次
(入間)



米山功労者 (2 回目)
繁田 光
(入間)



米山功労者 (1 回目)
豊田 義継
(入間)



米山功労者 (1 回目)
奥富 茂生
(入間)

米山表彰



米山功労者メジャー・ドナー
中川 正明
(東松山)



米山功労者 (6 回目)
金子 和義
(東松山)



米山功労者 (8 回目)
鎌田 政稔
(川越中央)



米山功労者 (5 回目)
市川 悦廣
(川越中央)



米山功労者 (1 回目)
石井 秀夫
(所沢西)

訃報



木暮 亨様 (深谷東)

2017年11月12日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

享年 73 歳

ロータリー歴：

昭和 58 年 5 月 10 日入会 (在籍 34 年)

- ・ 2004-2005年度 深谷東ロータリークラブ会長
- ・ ロータリー財団メジャードナー
- ・ 米山功労者マルチプル

新入会員



井古田 悦男
(本庄)

(株)井古田園
代表取締役

紹介者：渋澤 健司
／巴 高志

[2017.10.5 入会]



井上 秀一
(本庄)

井上建設(株)
代表取締役

紹介者：坂田 清茂
／小林 弘斉

[2017.10.5 入会]

新入会員



浅見 理紗
(本庄南)

あさみ珈琲店
代表

紹介者：栗田 文治
[2017.10.2 入会]



日向 秀一
(本庄南)

(株)ASU

紹介者：河原 淳
[2017.11.13 入会]



鎌田 光昭
(東松山)

鎌田司法書士事務所
所長

紹介者：真下 和男
／山口 和範
[2017.9.7 入会]



田中 英治
(川越中央)

(株)エコステーション
マネージャー

紹介者：立川 孝英
[2017.11.13 入会]



窪田 浩
(新狭山)

(有)窪田新聞店
代表取締役

紹介者：田口 勇男
[2017.11.20 入会]

11月度 出席率および会員数・マイロータリー登録者数報告

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								マイロータリー登録者数 (人/率)			
		11月	通算	年初	10月末	11月入会数	11月退会者	本年度入会者	本年度退会者	11月度純増数	本年度純増数	女性会員	11月末登録者	11月末未登録	11月末登録率
第1グループ															
川越	4	73.24	75.35	91	92	0	0	2	1	0	1	0	30	61	33.0
東松山	4	73.53	71.57	26	27	0	0	1	0	0	1	1	5	22	18.5
小川	4	86.78	87.35	7	8	1	0	1	0	1	1	2	1	6	14.3
坂戸	4	81.90	84.07	30	30	0	0	0	0	0	0	1	7	23	23.3
越生毛呂	4	82.10	70.46	16	17	1	0	1	0	1	1	2	3	13	18.8
川越小江戸	3	74.92	80.65	15	16	0	0	1	0	0	1	1	4	12	25.0
川越西	3	65.08	72.03	17	16	0	0	0	1	0	-1	0	7	9	43.8
鶴ヶ島	3	89.00	87.20	30	31	0	0	1	0	0	1	3	31	0	100.0
川越中央	4	74.53	78.12	30	29	1	0	1	2	1	-1	0	4	25	13.8
坂戸さつき	3	64.00	69.34	25	25	0	0	0	0	0	0	4	11	14	44.0
東松山むさし	4	95.51	85.94	42	42	0	0	0	0	0	0	6	8	34	19.0
合計 (11RC)	40	78.24	78.37	329	333	3	0	8	4	3	4	20	111	219	33.6
第2グループ															
朝霞	2	100.0	96.51	30	30	0	0	0	0	0	0	0	9	21	30.0
志木	5	95.17	92.95	47	47	0	0	0	0	0	0	0	17	29	37.0
富士見	4	87.30	82.01	45	45	0	0	0	0	0	0	0	3	22	12.0
新座	3	81.09	82.80	28	28	0	0	0	0	0	0	2	3	25	10.7
和光	3	52.38	76.59	5	7	0	0	2	0	0	2	3	3	4	42.9
朝霞キャロット	4	84.62	91.41	13	13	0	0	0	0	0	0	0	2	11	15.4
志木柳瀬川	3	81.48	85.59	10	9	0	0	0	1	0	-1	4	1	8	11.1
新座こぶし	3	74.40	78.55	13	13	0	0	0	0	0	0	1	2	11	15.4
合計 (8RC)	27	82.06	85.80	191	192	0	0	2	1	0	1	10	40	131	23.4
第3グループ															
入間	4	79.20	77.14	43	44	0	0	1	0	0	1	2	11	33	25.0
所沢	3	76.02	72.99	57	59	0	0	3	1	0	2	4	8	51	13.6
飯能	4	91.70	92.45	57	57	0	0	0	0	0	0	0	3	54	5.3
新所沢	2	94.56	93.08	20	21	0	0	1	0	0	1	1	4	17	19.0
日高	4	79.68	76.87	18	18	0	0	0	0	0	0	2	9	9	50.0
所沢西	3	89.80	93.26	28	29	0	1	2	1	-1	1	3	7	22	24.1
新狭山	4	72.99	77.93	16	19	2	0	3	0	2	3	1	7	11	38.9
所沢東	4	85.05	83.36	41	41	0	0	1	1	0	0	2	4	36	10.0
入間南	3	75.40	74.17	42	42	1	0	1	1	1	0	0	14	28	33.3
所沢中央	4	94.60	95.08	22	25	1	0	4	1	1	3	2	2	23	8.0
狭山中央	4	81.49	91.58	32	32	0	0	0	0	0	0	7	5	25	16.7
合計 (11RC)	39	83.68	84.35	376	387	4	1	16	5	3	11	24	74	309	19.3
第4グループ															
深谷	4	67.61	69.32	56	55	0	0	0	1	0	-1	11	9	46	16.4
本庄	4	65.50	78.13	73	78	2	0	5	0	2	5	5	16	61	20.8
秩父	4	73.10	76.00	52	54	1	0	3	1	1	2	1	11	43	20.4
寄居	3	89.33	90.47	25	25	0	0	0	0	0	0	0	1	24	4.0
児玉	2	66.66	86.67	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.0
岡部	3	87.17	85.23	16	16	0	0	0	0	0	0	2	8	8	50.0
深谷東	3	60.86	64.17	68	66	0	1	0	2	-1	-2	0	6	60	9.1
川本	3	58.00	79.20	11	11	0	0	0	0	0	0	0	2	9	18.2
皆野・長瀬	3	75.00	76.12	12	12	0	0	0	0	0	0	0	1	11	8.3
本庄南	4	67.19	78.00	14	16	1	0	2	0	1	2	1	15	1	93.8
深谷ノース	3	84.31	86.47	34	34	0	0	0	0	0	0	1	6	28	17.6
合計 (11RC)	36	72.25	79.07	364	370	4	1	10	4	3	6	21	75	294	20.3
第5グループ															
熊谷	3	76.14	71.10	90	87	0	1	0	3	-1	-3	4	6	82	6.8
行田	3	74.20	68.74	65	66	0	0	1	0	0	1	5	5	60	7.7
羽生	4	57.22	63.71	46	45	0	0	0	1	0	-1	4	2	44	4.3
加須	2	82.00	81.45	31	30	0	0	0	1	0	-1	0	2	28	6.7
熊谷西	2	73.00	70.60	11	11	0	0	0	0	0	0	0	1	10	9.1
行田さくら	4	63.10	69.76	50	51	0	0	2	1	0	1	2	26	25	51.0
熊谷東	4	66.67	71.42	29	30	0	0	1	0	0	1	2	5	25	16.7
吹上	4	91.00	86.78	11	11	0	0	0	0	0	0	0	7	4	63.6
熊谷籠原	4	82.99	84.09	25	28	0	0	3	0	0	3	0	5	23	17.9
熊谷南	2	50.00	53.16	20	20	0	0	0	0	0	0	1	5	14	26.3
合計 (10RC)	32	71.63	72.08	378	379	0	1	7	6	-1	1	18	64	315	16.9

総グループの合計 (51RC)

出席率 (%)		上段・51クラブ男性会員数 (人) / 下段・女性会員数								マイロータリー登録者数 (人/率)		
11月	通算	年初	11月末	11月入会数	11月退会者	本年度入会者	本年度退会者	11月度純増数	本年度純増数	11月末登録者数	11月末未登録者数	11月末登録率
77.42	79.74	1551	1568	8	3	37	20	5	17	364	1268	22.3
		87	93	3	0	6	0	3	6			
会員数・男女合計		1638	1661	11	3	43	29	8	23	364	1268	22.3



関謙一郎
(所沢中央)

(株)フォーシーズン
代表取締役
紹介者: 駒崎敏郎
[2017.11.27 入会]



河野義郎
(所沢東)

東海東京証券(株)
所沢支店支店長
紹介者: 武田峰和
[2017.10.19 入会]



丸木清之
(越生毛呂)

学校法人 埼玉医科大学
理事長
紹介者: 横沢洋司
/ 弓田勝俊
[2017.10.28 入会]



安藤真己
(熊谷)

武蔵野銀行熊谷支店
支店長
紹介者: 松本光弘
/ 大澤孝至
[2017.12.1 入会]

2018年

1月

7土-8日 青少年奉仕部門ウィンターキャンプ (第7回オリエンテーション)

国立女性教育会館

13土 RLI委員会 RLI研修パート3

国立女性教育会館

13土-14日 R米山記念奨学部 次年度奨学生採用面接試験

国立女性教育会館

14日 国際奉仕部門 日豪青年相互訪問 第3回オリエンテーション

紫雲閣

21日 国際奉仕部門 ウェルカムパーティー

ラボア・ラクテ

3土 青少年奉仕部門 節分豆まき (第8回オリエンテーション)

瀧宮神社

3土 ローターリー財団部門第3回オリエンテーション・2770地区合同

大宮パレスホテル

11日 第5グループ Intercity Meeting

むさしの村さくらホール

2月

16金 第4グループ Intercity Meeting

埼玉GH深谷

18日 第3グループ Intercity Meeting

ホテルヘリテージ飯能

18日 国際奉仕部門 第4回オリエンテーション

ウエスタ川越

25日 地区チーム研修セミナー

紫雲閣

表紙写真 国宝 金錯銘鉄剣 (稲荷山古墳出土)

1968年に行われた稲荷山古墳の後円部分の発掘調査の際、画文帯環状乳神獣鏡や馬具等とともに鉄剣が出土しました。十年後腐食の進む鉄剣の保護処理のためX線による検査が行われた際に鉄剣の両面に115文字が金象嵌で表されていることが判明しました。その歴史的・学術的価値から、同時に出土した他の副葬品と共に1983年には国宝に指定されました。

金錯銘鉄剣の表には「辛亥年七月中記乎獲居臣上祖名意富比埜其兒多加利足尼其兒名弓已加利獲居其兒名多加披次獲居其兒名多沙鬼獲居其兒名半弓比」裏には「其兒名加差披余其兒名乎獲居臣世々為杖刀人首奉事来至今獲加多支鹵大王寺在斯鬼宮時吾左治天下今作此百練利刀記吾奉事根原也」読み下すと「辛亥の年七月中、記す。ワワケの臣。上祖、名はオホヒコ。其の兒、タカリのスクネ。其の兒、名はテヨカリワケ。其の兒、名はタカヒシワケ。其の兒、名はタサキワケ。其の兒、名はハテヒ」裏は「其の兒、名はカサヒヨ。其の兒、名はワワケの臣。世々、杖刀人の首と為り、奉事し来り今に至る。ワカタケルの大王の寺、シキの宮に在る時、吾、天下を左治し、此の百練の利刀を作らしめ、吾が奉事の根原を記す也」

115文字という字数は日本のみならず他の東アジアの例と比較しても多く「獲加多支鹵大王」はワカタケル大王、21代雄略天皇とする説が有力で、日本古代史の確実な基準点となるのみならず、ヤマト政権の支配が5世紀には九州から東日本まで及んでいたことが考えられます。銘文にある「オホヒコ」について、日本書紀崇神天皇紀にある四道将軍の一人「大彦命」と考える説もあります。

県立さきたま史跡の博物館では、平成25年に埼玉県へ寄贈された稲荷山古墳出土金錯銘鉄剣復元品を、2年ぶりに国宝の実物と並べて2月18日まで特別公開しています。現代の名工たちによって再現された、製作当時を思わせる鉄剣の姿をぜひ御覧ください。

所有：文化庁 写真提供：埼玉県立さきたま史跡の博物館 (副幹事 橋本恭一記)

Rotary International District 2570

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 1月号 vol.7

2018年1月1日発行

月信問い合わせ先：行田さくらロータリークラブ

E-mail s-rotary@tv.g.ne.jp

TEL 048-564-3000



国際ロータリー 第2570地区 (埼玉西北部)

Rotary International District 2570

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町 2-5-14 紫雲閣 3階

TEL 0493-21-2570 / FAX 0493-21-2571

https://www.rid2570.gr.jp